

リハビリテーション治療学特講

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 中川賀嗣 poverame@hoku-iryu-u.ac.jp 田村 至

【概要】

高次脳機能障害とそのリハビリテーションについての学際的知見について学ぶ。

【学修目標】

一般目標 高次脳機能障害研究の現状を理解する。

行動目標 高次脳機能障害の各症状に対するリハビリテーションを理論に基づいて実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～8	高次脳機能障害研究の現状	高次脳機能障害研究の現状についての基礎的知識を総括する（失語、失認、失行や前頭葉機能障害、記憶障害、脳梁損傷ほか）。	中川賀嗣
9～15	高次脳機能障害（認知症、前頭葉機能障害など）にかかわるリハビリテーション	脳血管障害、神経疾患による高次脳機能障害（認知症、前頭葉機能障害など）について文献研究を行う。	田村 至

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義でなされる討論の結果に基づく（討論の内容50%、作成資料の内容50%）

【教科書】

高次脳機能障害に関する学術雑誌の内容に基づいて行う。

【学修の準備】

予習：文献の読み込み等を十分に行う（60分）

復習：各高次脳機能障害の特徴をケースレポートなどから判別できるように復習する（100分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、保健・医療・福祉の分野において、リハビリテーション科学に関する高度な学識と研究能力を修得し、リハビリテーション科学の発展を通して社会に貢献できるというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

田村 至(言語聴覚士) 中川賀嗣(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。